



MORITA GROUP

MORITA REPORT 2015

株主・投資家のみなさまへ

第83期中間報告書

2015年4月1日から2015年9月30日まで



INTERSCHUTZ 2015
ドイツ・ハノーバー国際見本市

MORITA

証券コード:6455

モリタトピックス

■安全走行支援システム「アドバンスモニタ」を開発、販売を開始

緊急車両である消防車は、迅速な事故現場への駆けつけとともに、より安全に配慮した走行や現場作業が求められます。このたび、モリタでは消防車を上から見た全周囲360度パノラマビューとして運転席のモニタへ表示し、死角となる部分を映し出すことにより、重大な事故につながる走行時の巻き込みや停発車時、駐車時の種々のアクシデントに対する安全走行をサポートする「アドバンスモニタ」を開発し、販売を開始いたしました。

また、消防車には様々な消火・救助機材を積載していますが、運転席にいながら、収納庫の扉や昇降ステップなどの開閉状態、救助クレーンや投光器などの収納状態をモニタを通じて容易に確認することができ、未収納により引き起こされる事故の未然防止をサポートする警告機能も装備しています。さらに、ドライブレコーダー機能も組み合わせが可能です。

この「アドバンスモニタ」は、本年6月にドイツで開催された世界最大級の消防防災展INTERSCHUTZ2015（インターシュッツ2015）に出展し、人や街の安全に配慮したモリタの新システムとして高い評価をいただきました。

今後は、消防車両のみならず、モリタグループで販売する環境衛生車両にも展開して、さらなる安全性の向上を図ってまいります。



〈パノラマビュー〉

〈バックビュー〉

■ 新モデル「回転式電動塵芥収集車 E-SVN (イー・セブン)」を販売開始

モリタエコノスは、新モデル「回転式電動塵芥収集車 E-SVN(イー・セブン)」を本年9月より販売開始いたしました。

E-SVN (イー・セブン) は、「より安全に、使いやすく。街にやさしい！」を開発コンセプトとし、現場でご使用いただいておりますお客さまの声、そして地域社会の環境を第一に考えた、モリタエコノスならではの技術を結集した回転式電動塵芥収集車となっております。

今回ハイブリッド車を採用することにより、電気駆動モードでは排気ガスが出ないため、地下収集所など現場環境に配慮した作業が可能となり、騒音も67.7dBまで低減され、早朝・夜間作業時の地域環境にも配慮しました。

また、ハイブリッド対応の塵芥収集車としてはクラス最大級のボディ容量 (4.8m³) を実現し、作業効率の向上をサポート。電動とエンジンの切替はキャビン内の操作パネルの簡単操作で可能となっております。安全性と操作性を両立した環境に優しい塵芥収集車となっております。モリタエコノスでは今後も「より安全に、使いやすく。街にやさしい！」を追求してまいります。



回転式電動塵芥収集車 E-SVN(イー・セブン)

■ 腰部サポートウェア「rakunie ラクニエ」 新型モデルを発売

2012年から販売しております腰部サポートウェア「rakunie ラクニエ」の新型モデルを開発いたしました。本年12月より販売を開始いたします。

腰部サポートウェア「rakunie ラクニエ」は、日常動作を妨げず、腰の負担が大きい前屈姿勢時のみサポート力を発揮する、新発想のサポートウェアとして発売以来、腰に負担を抱えるお仕事に従事されている方々に高い評価をいただいております。

今回発表の「rakunie ラクニエ」新型モデルの開発にあたっては、さらに幅広い業種への適応を可能にするため、農業・介護・流通・整備などのお仕事に従事されている方々のモニター協力を得て開発を行いました。その結果、確かなサポート力を発揮しつつ、車両運転時や休憩時にはバックルをはずすだけでカンタンにサポート力が解除できる機能が追加になり、これまで以上の使いやすさを実現いたしました。さらに男女兼用化を実現、サイズ範囲も拡大させたことにより(XS~L)、幅広い体型・体格の方にご使用いただけます。

モリタグループ全体でこれからも、元気に働ける環境づくりに努め、安全で住みよい豊かな社会への貢献に取り組んでまいります。



「rakunie ラクニエ」新型モデル



サポート力解除機能

トップメッセージ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、弊社第83期中間報告書をお届けするにあたり、営業の概況についてご報告申し上げます。

営業の概況

当第2四半期におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策により企業業績や設備投資に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調にあるものの、中国経済をはじめとした海外景気の下振れ懸念等から、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、積極的な営業展開に加え、原価低減の推進を図るとともに、新製品の開発に取り組んでまいりました。

当第2四半期の経営成績につきましては、売上高は前年同期比1,501百万円減少し、21,899百万円（6.4%減）、営業利益は前年同期比479百万円増加し、1,486百万円（47.7%増）、経常利益は前年同期比652百万円増加し、1,833百万円（55.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、関連会社（持分法非適用）の持分譲渡に伴い、関係会社株式売却損413百万円を特別損失に計上しましたが、経常利益の増加もあり、前年同期比130百万円増加し、922百万円（16.5%増）となりました。

なお、当社グループのセグメントごとの業績は次のとおりです。消防車両事業は、前年同四半期まで連結子会社であった中国合併会社の全持分を譲渡したこと等により、売上高は7,719百万円（前年同期比12.4%減）。防災事業は、消火器及びパッケージ型自動消火設備「スプリネックス」の販売が堅調に推移したことにより、売上高は7,804百万円（前年同期比0.9%増）。産業機械事業は、

受注は順調に推移する一方、製品の納入が下期に偏重する見通しであることから、売上高は1,678百万円（前年同期比30.9%減）。環境車両事業は、衛生車の出荷や部品販売が増加したことにより、売上高は4,696百万円（前年同期比6.2%増）。以上の結果となりました。

今後の見通し

当第2四半期における当社グループの業績は、順調に推移いたしました。当期につきましては、計画どおりの受注を確保したことにより、概ね堅調に推移する見通しであります。来期以降につきましても、予断を許さない状況が続くものと思われませんが、今後とも積極的な営業活動や原価低減はもとより、さらなる品質の向上とともに新製品・新技術の開発に取り組み、収益の確保を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月

代表取締役社長 尾形 和美

連結財務諸表

(百万円未満切捨て)

● 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成26年9月30日現在)	当第2四半期 (平成27年9月30日現在)	前 期 (平成27年3月31日現在)
資 産 の 部			
流 動 資 産	35,359	36,461	41,883
固 定 資 産	44,922	44,053	46,655
資 産 合 計	80,281	80,515	88,539
負 債 の 部			
流 動 負 債	24,281	20,635	27,796
固 定 負 債	10,687	10,705	11,169
負 債 合 計	34,968	31,340	38,966
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	43,883	46,945	46,675
資 本 金	4,746	4,746	4,746
資 本 剰 余 金	4,331	4,331	4,331
利 益 剰 余 金	35,048	39,360	38,810
自 己 株 式	△242	△1,492	△1,212
その他の包括利益累計額	915	1,649	2,319
その他有価証券評価差額金	2,986	3,142	3,868
繰延ヘッジ損益	△8	△3	△1
土地再評価差額金	△1,804	△1,980	△1,980
為替換算調整勘定	172	529	508
退職給付に係る調整累計額	△429	△38	△74
非支配株主持分	512	580	577
純 資 産 合 計	45,312	49,174	49,572
負 債 純 資 産 合 計	80,281	80,515	88,539

● 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	前 期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
売 上 高	23,400	21,899	71,943
売 上 原 価	17,088	15,534	53,128
売 上 総 利 益	6,311	6,365	18,814
販売費及び一般管理費	5,305	4,878	10,574
営 業 利 益	1,006	1,486	8,240
営 業 外 収 益	314	406	688
営 業 外 費 用	140	60	553
経 常 利 益	1,180	1,833	8,375
特 別 利 益	4	34	4
特 別 損 失	31	415	656
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	1,153	1,452	7,723
法 人 税 等	464	521	3,049
四半期(当期) 純利益	689	931	4,674
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期(当期)純損失(△)	△102	8	△35
親会社株主に帰属する 四半期(当期) 純利益	792	922	4,709

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	前 期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,472	△208	4,501
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,340	620	△3,101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△201	△1,952	△4,217
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	△0	△27
現金及び現金同等物の増減額	△5,042	△1,540	△2,845
現金及び現金同等物の期首残高	9,525	6,424	9,525
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額	△254	—	△254
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	4,227	4,884	6,424

会社の概要

(平成27年9月30日現在)

■ 概要

商号	株式会社モリタホールディングス
創業	明治40年4月23日
設立	昭和7年7月23日
資本金	47億4,612万円
大阪本社	大阪府中央区道修町3丁目6番1号
東京本社	東京都港区西新橋3丁目25番31号
事業内容	グループ各社の事業活動の支配・管理及び管理間接業務の受託

■ グループ会社

株式会社モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 〔はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防車両並びに特殊車両の開発・製造・販売〕
モリタ宮田工業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市下町屋1丁目1番1号 〔消火器を中心とした消火関連機器、消火装置、その他各種防災機器・設備の開発・製造・販売〕
株式会社モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 〔リサイクル処理施設、その他各種ゴミ処理施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の開発・製造・販売〕
株式会社モリタエコノス	大阪府八尾市神武町1番48号 〔衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・製造・販売〕
株式会社モリタテクノス	兵庫県三田市テクノパーク32番地 〔消防車両・救助用資機材等のアフターサービス・メンテナンス並びに電子応用機械器具・情報処理機械器具の開発・製造・販売〕

株式会社 ア ル ボ	静岡県磐田市上神増1479-1
株式会社 関西ボデーワークス	兵庫県三田市テクノパーク2番地の3
株式会社 モリタユージー	東京都港区芝2丁目5番6号 芝256スクエアビル8階
株式会社 モリタエンジニアリング	大阪府八尾市神武町1番48号
株式会社 北海道モリタ	札幌市東区苗穂町13丁目2番17号
鹿児島森田ポンプ株式会社	鹿児島市松原町12番32号
株式会社 モリタ東洋	三重県伊賀市佐那具町金神塚1700番地の2
株式会社 ミヤタサイクル	神奈川県川崎市川崎区東田町11-27 住友生命川崎ビル8F
南京晨光森田環保科技有限公司	中国南京市江寧經濟技術開發区 天元中路188号
四川森田消防裝備製造有限公司	中国四川省成都市温江区成都海峡兩岸 科技园新華大道一段8号
康鴻森田(香港)有限公司	香港灣仔軒尼詩道28号12楼

株主メモ

■ 株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<http://www.morita119.com/kohkoku/index.html>

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

上場証券取引所 東京証券取引所

1単元の株式数 100株

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。

<http://www.morita119.com>



モリタオリジナルグッズ通販サイト
「モリタネットショップ」

<http://morita119-netshop.com/>

人と地球のいのちを守る

MURITA

株式会社 モリタホールディングス

大阪本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号 ☎06-6208-1907

東京本社 〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目25番31号 ☎03-5777-5777

<http://www.morita119.com>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。